資料２

スマイルエイジング薬局イメージ図

【目的】
〇地域の健康拠点を増やすことで、市民が身近な地域で健康に関する相談ができ、また健康情報を入手できる手段を構築する。
〇健康拠点に市内の薬局を活用することで、薬学部があるまちの特性を活かした健康づくりを推進していくとともに、そのことを市民へ発信する。

市

市広報、ＨＰ等でのＰＲ

ＰＲ資材の提供

健康づくり等に関する普及啓発用資料の提供

健康関連イベントへの協力

情報提供を受けたケース等への支援

認定

スマイルエイジング薬局

【認定要件例（抜粋）】
◎必須と〇努力項目設定

①連携体制の構築
◎気になるケースの連絡
◎健診や市の事業等の周知・勧奨
◎スマイルエイジング強化月間、SOS 情報ステーション等への協力
〇スマイルエイジング健康講座外部講師シリーズへの登録

②積極的な健康サポートの取組
◎健康相談体制の構築
◎健康イベントの実施
〇健康機器などの設置

③研修終了薬剤師の設置
◎健康エキスパート薬剤師
◎自己研鑽（大学開催研修など受講必須研修を設定。会議への参加）

④健康情報の発信
◎パンフレットの設置

⑤市民への周知
◎のぼり等の設置

山口東京理科大学

市薬剤師会全体のボトムアップに繋がる教育等支援

健康関連イベントへの協力

医療保健専門職団体

健康関連イベントへの協力

市　民

健康寿命の延伸